



1. 第31回全国大会・開催のご連絡（2023年11月18日（土））

第31回全国大会は2023年11月18日（土）に、オンライン（Zoom）で開催いたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。以下、大会プログラムとなります。統一テーマを「情報新時代」と致します。

<受付開始> 9:00

- ◆大会参加費：無料
- ◆参加方法：事前に連絡を頂いた方にZoomのアクセスコードをお伝えします
- ◆交流会：実施いたしません

プログラム

<開会式> 9:20~9:30

- 総合司会 吉田友敬（学会誌編集委員長）
- 開会挨拶 平澤洋一（全国大会実行副委員長、総務委員長）

<午前研究発表セッション> 9:30~11:00 \*各発表：30分（口頭発表20分、質疑10分）

第一セッション 座長：（交渉中）

テーマ：「情報と社会」

発表者	発表者所属	発表題目
連婷婷	東京大学大学院学際情報 学府博士課程	施設内高齢認知症患者・視角障害者介護の問題点 —「意識介護」「自立支援介護」が有効—
豊澤裕子	株式会社 NR	健康・医療情報の PR(パブリックリレーションズ)の信頼性について の考察
桑野綾太 井上隼多 梶原義実 堀涼 浦田真由 遠藤守 安田孝美	桑野 綾太(名古屋大学情 報学部), 井上 隼多・梶原 義実(名古屋大学大学院 人文学研究科), 堀 涼・ 浦田 真由・遠藤 守・安田 孝美(名古屋大学大学院 情報学研究科)	3次元計測データの断面形状を用いた土器の客観的識別

<昼食休憩> 11:00~12:50

<役員会> 12:00~12:40 議長：須藤修 会長、司会：平澤洋一  
須藤修 会長 ご退任の挨拶

<特別講演> 12:50~13:30

講演テーマ：『生成 AI と課題について』

講演内容：OECD の専門会議、総務省の AI ガイドラインなどを含め、最新の AI を紹介する予定

講演者：須藤修（情報文化学会会長、全国大会実行委員長）

<午後研究発表セッション> 13:30~15:30 \*各発表：30分（口頭発表20分、質疑10分）

第二セッション 座長 辻本篤（北海道大学大学院）

テーマ：「情報と人間」

発表者	発表者所属	発表題目
岩本茉佑 風岡真白	金城学院大学	沖縄米軍基地水質汚染問題の対策状況に関する一考察
大井奈美 原島大輔 椋本輔 西田洋平	大井奈美(山梨英和大学)・原島大輔(早稲田大学)・椋本輔(鶴見大学)・二松学舎大学・京都芸術大学)・西田洋平(東海大学)	人間と機械の創造性の異同 —情報と文化の創出をめぐるネオ・サイバネティクスの考察—
平澤洋一	広島大学	日中韓ミームの調査
岩崎晃和 杉澤愛美 安田光孝	岩崎晃和(北海道情報大学大学院)・杉澤愛美(北海道情報大学メディア学部)・安田光孝(北海道情報大学大学院経営情報学研究科)	江別市在住外国人のゴミ分別実態調査と改善策提案 —UX デザインのフレームワークを活用した制作—

<総会> 15:50~16:15

総合司会：吉田友敬（学会誌編集委員長）

議長：須藤修（会長、全国大会実行委員長） 司会：平澤洋一（総務委員長）

<閉会式> 閉会挨拶 須藤修（会長、全国大会実行委員長）

## 2. 「JICS 便り」名誉会長 片方 善治 —生成 AI の進化と情報文化学—

ChatGPT の進化をここでは生成 AI と呼び、今後の予想とそれに対する思考と行動について述べる。オープン AI (米国) は、生成 AI はチャットからマルチモーダルへ発展していくとの論文を発表している (2023 年 3 月 14 日)。マルチモーダルとは、複数の種類や形成のデータは対応するという意味で、基盤モデルとして GPT-4 を具体的に示している。このモデルは、全く新しい種類のアプリを生み出すプラットフォームになり、アプリの世代交代を起こすとの予測もある。スマホの登場でアプリ世代が一新したことを想起すべきである。システム連繋も一変するであろう。生成 AI だけではない。メタバースとの結合など、他の先進分野との結合・応用も予想される。互いの強みをつなぐテクノロジーも生じるであろう。暴走を許してはならないとの合意形成を急ぐべきである。本学会としては、活動範囲は限られるが、機会をとらえて情報文化学の理念系・人間系・施設系の意義をアピールすべきである。会員各位の高い志を持つての思考と行動は、道を外れぬ生成 AI に向けて同志の輪をつないでいくと信じている。